

第 8 公営企業会計の状況

地方公営企業とは、地方公共団体が、公共の利益を目的として経営する企業です。熊本県では、電気事業、工業用水道事業、有料駐車場事業、病院事業の 4 事業を経営しています。

地方公営企業における決算は、一般会計と同様に一会計年度の歳入歳出予算の執行実績について作成され、一事業年度における事業の経営成績及び財政状況を明らかにするための会計手続きです。

平成 29 年度公営企業会計の決算については、平成 30 年 9 月熊本県議会定例会に提案しました。

第8 公営企業会計の状況

1 電気事業

平成29年度決算の概要

●事業の概要

電気事業は、市房第一、市房第二、緑川第一、緑川第二、笠振、菊鹿及び緑川第三の7水力発電所と阿蘇車帰風力発電所によって、九州電力株式会社へ電力を供給しました。

○電力の供給状況

8発電所（7水力、1風力）による最大出力の合計は5万5,700kWで、平成29年度における総供給電力量は1億6,652万7,202kWhとなりました。

(単位：kWh、%)

年度 発電所名	平成28年度	平成29年度			対前年 度比
	実績供給電力量	目標供給電力量	実績供給電力量	達成率	
市房第一	50,247,910	41,651,000	44,960,958	107.9	89.5
市房第二	9,527,931	7,233,000	8,258,606	114.2	86.7
緑川第一	75,219,569	66,733,000	66,419,780	99.5	88.3
緑川第二	36,997,271	34,586,000	37,748,840	109.1	102.0
笠 振	4,004,500	4,009,000	3,507,338	87.5	87.6
菊 鹿	3,546,300	2,993,000	3,031,000	101.3	85.5
緑川第三	2,021,800	1,761,000	1,893,700	107.5	93.7
阿蘇車帰	668,670	2,095,005	706,980	37.5	105.7
合 計	182,233,951	161,061,005	166,527,202	103.4	91.4

●経営の状況

事業収益は、水力発電電力料収入14億5,676万円（対前年度比97.9%）と風力発電電力料収入1,345万円（対前年度比105.7%）に、雑収益476万円と負担金収益38万円を合わせた営業収益が14億7,535万円（対前年度比97.9%）、営業外収益が5,665万円（対前年度比84.8%）の合計15億3,200万円（対前年度比98.6%）となりました。

事業費は、営業費用が13億2,183万円（対前年度比99.3%）、営業外費用が1,889万円（対前年度比86.5%）、特別損失が2億281万円（対前年度比371.9%）で、合計15億4,353万円（対前年度比109.6%）となっており、事業収支では1,152万円の純損失を生じています。

資本的支出では、企業債償還等の他、緑川第一発電所水車発電機更新等の改良工事や荒瀬ダム関連工事を行いました。

○損益計算書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	1,321,828	営業収益	1,475,348
(1)市房発電所	155,861	(1)水力発電電力料	1,456,757
(2)緑川発電所	309,834	(2)負担金収益	379
(3)笠振発電所	67,884	(3)雑収益	4,760
(4)菊鹿発電所	44,406	(4)風力発電電力料	13,452
(5)緑川第三発電所	26,719		
(6)発電総合管理所	309,236		
(7)一般管理費	331,564		
(8)阿蘇車帰風力発電所	76,324		
営業利益	153,520		
営業外費用	18,888	営業外収益	56,655
(1)支払利息	17,393	(1)受入利息	1,078
(2)雑支出	1,495	(2)雑収益	8,224
(3)雑損失	0	(3)補助金	20,172
		(4)長期前受金戻入	27,182
経常利益	191,287		
特別損失	202,812	特別利益	0
(1)その他特別損失	191,906		
(2)荒瀬ダム関連費用	10,906		
		当年度純損失	11,525
		前年度繰越利益剰余金	1
		その他の未処分利益剰余金変動額	
		当年度未処理欠損金	11,524

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

(注)前年度繰越利益剰余金は590円。

○貸借対照表(平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 引 当 金	
イ 水 力 発 電 設 備	12,955,479	イ 退 職 給 付 引 当 金	397,993
減 価 償 却 累 計 額	▲ 9,016,485	ロ 特 別 修 繕 引 当 金	173,544
ロ 業 務 設 備	462,338	(2) 企 業 債	
減 価 償 却 累 計 額	▲ 206,808	イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	1,189,288
ハ 風 力 発 電 設 備	444,369	固 定 負 債 合 計	1,760,824
減 価 償 却 累 計 額	▲ 285,026		
ニ 事 業 外 固 定 資 産	3,078	4 流 動 負 債	
減 価 償 却 累 計 額	0	(1) 未 払 金	703,637
ホ 建 設 仮 勘 定	866,787	(2) 未 払 費 用	142,807
ヘ 荒 瀬 ダ ム 仮 勘 定	4,618,080	(3) 預 り 金	16,407
有 形 固 定 資 産 合 計	9,841,811	(4) 前 受 金	1,598
		(5) 企 業 債	
(2) 無 形 固 定 資 産		イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	109,223
イ 水 力 発 電 設 備	121,480	(6) 引 当 金	
ロ 業 務 設 備	18,696	イ 賞 与 引 当 金	38,549
ハ 風 力 発 電 設 備	1,514	ロ 修 繕 引 当 金	15,770
ニ 事 業 外 固 定 資 産	0	流 動 負 債 合 計	1,027,993
無 形 固 定 資 産 合 計	141,689		
		5 繰 延 収 益	
(3) 投 資		(1) 長 期 前 受 金	859,926
イ 長 期 貸 付 金	265,554	(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 (借 方)	▲ 482,881
投 資 合 計	265,554	繰 延 収 益 合 計	377,046
固 定 資 産 合 計	10,249,055	負 債 合 計	3,165,863
2 流 動 資 産		6 資 本 金	
(1) 現 金 預 金	5,280,865	(1) 自 己 資 本 金	9,949,525
(2) 営 業 未 収 金	132,993	資 本 金 合 計	9,949,525
(3) 営 業 外 未 収 金	233,260		
(4) 前 払 金	192,456	7 剰 余 金	
(5) 前 払 費 用	0	(1) 資 本 剰 余 金	
(6) 雑 流 動 資 産	0	イ 補 助 金	8,468
流 動 資 産 合 計	5,839,574	ロ 受 贈 財 産 評 価 額	449
		ハ 雑 資 本 剰 余 金	189
		ニ 荒 瀬 ダ ム 関 連 交 付 金 等	1,430,799
		資 本 剰 余 金 合 計	1,439,904
		(2) 利 益 剰 余 金	
		イ 減 債 積 立 金	0
		ロ 利 益 積 立 金	370,492
		ハ 中 小 水 力 発 電 開 発 改 良 積 立 金	109,475
		ニ 建 設 改 良 積 立 金	1,064,893
		ホ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	△ 11,524
		利 益 剰 余 金 合 計	1,533,336
		剰 余 金 合 計	2,973,240
		資 本 合 計	12,922,765
資 産 合 計	16,088,629	負 債 資 本 合 計	16,088,629

(注) 本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○予算の執行状況

収益的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成28年度 税込決算額(A)	平成29年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
事業収益	1,674,494	1,672,554	1,649,695	98.6	98.5
営業収益	1,626,468	1,605,435	1,593,017	99.2	97.9
営業外収益	48,026	67,119	56,678	84.4	118.0
事業費	1,471,287	1,637,625	1,591,927	97.2	108.2
営業費用	1,360,392	1,539,220	1,349,129	87.7	99.2
営業外費用	52,050	39,373	39,120	99.4	75.2
特別損失	58,846	19,032	203,678	1,070.2	346.1
予備費		40,000		0.0	-
差 引	203,208	34,929	57,769	165.4	28.4

資本的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成28年度 税込決算額(A)	平成29年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入	648,734	1,700,724	879,936	51.7	135.6
企業債	254,000	1,319,000	346,000	26.2	136.2
補助金	1,602			-	0.0
固定資産売却代金	1,618		36,212	-	2,238.1
他会計からの返還金	265,554	265,554	265,554	100.0	100.0
荒瀬ダム関連交付金等	125,960	116,170	232,170	199.9	184.3
資本的支出	1,315,373	2,595,041	1,723,896	66.4	131.1
建設改良費	930,846	2,163,023	1,341,879	62.0	144.2
企業債償還金	118,973	116,464	116,463	100.0	97.9
他会計への繰出金	265,554	265,554	265,554	100.0	100.0
予備費		50,000		0.0	-
差 引	▲ 666,638	▲ 894,317	▲ 843,960	94.4	126.6

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額843,960千円は、当年度分消費税及び地方消費税
資本的収支調整額69,349千円、過年度分損益勘定留保資金774,611千円で補てん。

平成 30 年度上半期の状況

●予算の状況

次のとおり、平成 30 年 6 月に支出予算の補正を行いました。

(単位:千円)

区分	科目	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
収 益	事業収益				
	営業収益	1,240,887			1,240,887
的 収 入	営業外収益	184,301			184,301
	計	1,425,188			1,425,188
支 出	事業費				
	営業費用	1,682,602			1,682,602
	営業外費用	14,755			14,755
	特別損失	6,150	41,008		47,158
	予備費	40,000			40,000
計	1,743,507	41,008		1,784,515	

2 工業用水道事業

平成 29 年度決算の概要

●事業の概要

工業用水道事業は、有明、八代及び苓北の 3 工業用水道によって、工場等へ工業用水を供給しました。

○給水の状況

3 施設の給水能力の合計は 6 万 8,360m³/日で、平成 29 年度における契約水量の合計は 1,120 万 3,249m³、基本使用水量は 874 万 984m³となりました。

(単位：m³、%)

	平成 28 年度		平成 29 年度	
	契約水量	基本使用水量	契約水量(対前年度比)	基本使用水量(対前年度比)
有 明	5,226,160	3,628,050	5,228,260(100.0)	3,646,350(100.5)
八 代	3,338,555	2,460,000	3,390,969(101.6)	2,510,614(102.1)
苓 北	2,576,900	2,576,900	2,584,020(100.3)	2,584,020(100.3)
合 計	11,141,615	8,664,950	11,203,249(100.6)	8,740,984(100.9)

※契約水量：受水企業が使用可能な水量

基本使用水量：受水企業が当面の使用水量として設定した水量で、給水料金の算定基礎となる水量

●経営の状況

事業収益は、営業収益が 6 億 3,097 万円（対前年度比 102.3%）、営業外収益が 3 億 5,284 万円（対前年度比 95.6%）となり、総収益は 9 億 8,382 万円（対前年度比 98.5%）となりました。

事業費用は、営業費用が 9 億 2,616 万円（対前年度比 101.6%）、営業外費用が 8,029 万円（対前年度比 89.4%）で、合計 10 億 645 万円（対前年度比 99.1%）となっており、事業収支では 2,263 万円の純損失を生じています。

資本的支出では、企業債償還等の他、有明工業用水道監視制御装置更新等の改良工事を行いました。

○損益計算書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	926,164	営業収益	630,972
(1)原水及び浄水費	333,486	(1)給水収益	445,512
(2)配水費	938	(2)受託管理収益	185,298
(3)業務費	100,815	(3)雑収益	162
(4)減価償却費	489,749		
(5)資産減耗費	1,176		
		営業損失	295,192
営業外費用	80,294	営業外収益	352,849
(1)支払利息	73,547	(1)受入利息	89
(2)雑支出	1,711	(2)雑収益	1,989
(3)過年度損益修正損	5,036	(3)補助金	49,109
		(4)過年度損益修正益	207
		(5)長期前受金戻入	301,456
		経常損失	22,637
特別損失		特別利益	
		当年度純損失	22,637
		前年度繰越欠損金	4,927,930
		その他未処分利益剰余金変動額	
		当年度未処理欠損金	4,950,567

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○貸借対照表(平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 他 会 計 借 入 金	11,402,732
イ 工 業 用 水 道 設 備	13,388,908	(2) 受 託 金	
減 価 償 却 累 計 額	▲ 6,414,110	イ 受 託 工 事 金	4,843
ロ 建 設 仮 勘 定	202,691	(3) 引 当 金	
有 形 固 定 資 産 合 計	7,177,489	イ 退 職 給 付 引 当 金	65,438
(2) 無 形 固 定 資 産		ロ 修 繕 準 備 引 当 金	347,727
イ 工 業 用 水 道 設 備	11,432,396	ハ 特 別 修 繕 引 当 金	35,638
無 形 固 定 資 産 合 計	11,432,396	(4) 企 業 債	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産		イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	2,442,643
イ 長 期 貸 付 金	373,863	固 定 負 債 合 計	14,299,021
固 定 資 産 合 計	18,983,748		
		4 流 動 負 債	
2 流 動 資 産		(1) 未 払 金	39,976
(1) 現 金 預 金	1,360,633	(2) 未 払 費 用	38,265
(2) 未 収 金	121,570	(3) 預 り 金	57,474
(3) 貯 蔵 品	9,194	(4) 前 受 金	57,415
(4) 雑 流 動 資 産	56,000	(5) 企 業 債	
流 動 資 産 合 計	1,547,398	イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	551,873
		(6) 引 当 金	
		イ 賞 与 引 当 金	4,646
		(7) 他 会 計 借 入 金	300,741
		流 動 負 債 合 計	1,050,390
		5 繰 延 収 益	
		(1) 長 期 前 受 金	13,784,198
		(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 (借 方)	▲ 4,001,073
		繰 延 収 益 合 計	9,783,125
		負 債 合 計	25,132,537
		6 資 本 金	
		(1) 自 己 資 本 金	30
		資 本 金 合 計	30
		7 剰 余 金	
		(1) 資 本 剰 余 金	
		イ 国 庫 補 助 金	131,065
		ロ 会 社 負 担 金	204,251
		ハ 受 贈 財 産 評 価 額	447
		ニ 雑 資 本 剰 余 金	335
		ホ 一 般 会 計 補 助 金	13,047
		ヘ そ の 他 補 助 金	
		資 本 剰 余 金 合 計	349,146
		(2) 欠 損 金	
		イ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	4,950,567
		欠 損 金 合 計	4,950,567
		剰 余 金 合 計	▲ 4,601,421
		資 本 合 計	▲ 4,601,391
資 産 合 計	20,531,146	負 債 資 本 合 計	20,531,146

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○予算の執行状況

収益的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成28年度 税込決算額(A)	平成29年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
事業収益	1,057,699	1,092,204	1,033,894	94.7	97.7
営業収益	666,231	736,463	681,044	92.5	102.2
営業外収益	378,946	355,741	352,850	99.2	93.1
特別利益	12,522			-	0.0
事業費	1,057,990	1,175,520	1,055,723	89.8	99.8
営業費用	934,795	1,056,365	948,856	89.8	101.5
営業外費用	107,263	109,155	106,867	97.9	99.6
特別損失	15,932			-	0.0
予備費		10,000		0.0	-
差 引	▲ 291	▲ 83,316	▲ 21,829	26.2	7,501.4

資本的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成28年度 税込決算額(A)	平成29年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入	1,391,031	986,204	969,098	98.3	69.7
長期借入金	808,325	531,028	531,028	100.0	65.7
補助金	202,658	180,598	176,865	97.9	87.3
受託工事金	378,599	270,191	256,818	95.1	67.8
会計内返還金	1,449	4,387	4,387	100.0	302.8
固定資産売却代金				-	-
資本的支出	1,556,618	754,581	1,106,419	146.6	71.1
建設改良費	690,478	10,493	372,331	3,548.4	53.9
企業債償還金	416,838	433,180	433,180	100.0	103.9
長期借入金償還金	284,602	297,380	297,380	100.0	104.5
会計内貸付金	164,700			-	0.0
補助金返還金		3,528	3,528	100.0	-
予備費		10,000		0.0	-
差 引	▲ 165,587	231,623	▲ 137,321	△ 59.3	82.9

(注)資本的収入額が資本的支出額に不足する額137,322千円は、
過年度分損益勘定留保資金137,322千円で補てん。

平成 30 年度上半期の状況

●予算の状況

平成 30 年度上半期における予算の補正はありません。

3 有料駐車場事業

平成 29 年度決算の概要

●事業の概要

有料駐車場事業は、熊本市の中心部に位置する 24 時間出入庫自由の県営有料駐車場と、月極駐車専用の県営第二有料駐車場を運営しました。

なお、両駐車場の管理運営については、平成 28 年 4 月から指定管理者が行っています。

○利用台数

平成 29 年度の県営有料駐車場の普通駐車と定期車を合わせた利用台数は、208,381 台（対前年度比 133.0%）となりました。

また、収容台数 37 台の県営第二有料駐車場の各月契約台数合計は 440 台（対前年度比 102.8%）となりました。

（単位：台、%）

（単位：台、%）

	県営有料駐車場				県営第二有料駐車場		
	平成28年度	平成29年度	対前年度比		平成28年度	平成29年度	対前年度比
4月	2,898	16,067	554.4	4月	33	37	112.1
5月	1,394	17,500	1255.4	5月	34	37	108.8
6月	14,059	16,812	119.6	6月	35	37	105.7
7月	15,949	18,559	116.4	7月	37	37	100.0
8月	14,997	17,894	119.3	8月	37	35	94.6
9月	14,579	16,847	115.6	9月	37	36	97.3
10月	15,673	17,265	110.2	10月	37	36	97.3
11月	15,441	17,247	111.7	11月	35	37	105.7
12月	17,372	19,436	111.9	12月	35	37	105.7
1月	15,516	16,792	108.2	1月	36	37	102.8
2月	13,891	15,911	114.5	2月	35	37	105.7
3月	14,870	18,051	121.4	3月	37	37	100.0
合計	156,639	208,381	133.0	合計	428	440	102.8

※県営有料駐車場の平成 28 年度の 3 月は一部システム障害（17 日間）により推計値

●経営の状況

事業収益は、営業収益が 1 億 1,768 万円（対前年度比 121.3%）、営業外収益が 809 万円（対前年度比 399.0%）で、総収益は 1 億 2,642 万円（対前年度比 127.6%）となりました。

事業費用は、営業費用が 4,179 万円（対前年度比 99.5%）となっており、事業収支では 8,463 万円（対前年度比 214.0%）の純利益を生じています。

資本的支出では、県営有料駐車場 I T V（監視カメラ）設備更新工事を行いました。

○損益計算書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	41,789	営業収益	117,682
(1)有料駐車場	41,789	(1)負担金収益	1,914
		(2)雑収益	502
		(3)納付金	115,266
営業利益	75,893		
営業外費用		営業外収益	8,089
		(1)受入利息	140
		(2)雑収益	2
		(3)過年度損益修正益	6,856
		(4)長期前受金戻入	1,092
経常利益	83,982		
特別損失		特別利益	644
		(1)その他特別利益	644
当年度純利益	84,627		
前年度繰越利益剰余金	0		
その他未処分利益剰余金変動額	18,308		
当年度未処分利益剰余金	102,935		

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○貸借対照表(平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 引 当 金	
イ 有 料 駐 車 場 設 備	2,141,439	イ 退 職 給 与 引 当 金	11,739
減 価 償 却 累 計 額	▲ 582,571	ロ 修 繕 準 備 引 当 金	13,182
有 形 固 定 資 産 合 計	1,558,867	固 定 負 債 合 計	24,921
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 有 料 駐 車 場 設 備	148	4 流 動 負 債	
無 形 固 定 資 産 合 計	148	(1) 未 払 金	0
固 定 資 産 合 計	1,559,015	(2) 未 払 費 用	918
		(3) 預 り 金	408
		(4) 引 当 金	624
2 流 動 資 産		流 動 負 債 合 計	1,950
(1) 現 金 預 金	999,688		
(2) 未 収 金	31,315	5 繰 延 収 益	
(3) 前 払 金	17,064	(1) 長 期 前 受 金	
流 動 資 産 合 計	1,048,067	イ 長 期 前 受 金	74,590
		ロ 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	▲ 46,467
		長 期 前 受 金 合 計	28,123
		繰 延 収 益 合 計	28,123
		負 債 合 計	54,994
		6 資 本 金	
		(1) 自 己 資 本 金	1,770,458
		資 本 金 合 計	1,770,458
		7 剰 余 金	
		(1) 資 本 剰 余 金	
		イ 受 贈 財 産 評 価 額	73
		資 本 剰 余 金 合 計	73
		(2) 利 益 剰 余 金	
		イ 利 益 積 立 金	246,642
		ロ 建 設 改 良 積 立 金	431,981
		ハ 減 債 準 備 積 立 金	
		ニ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	102,935
		利 益 剰 余 金 合 計	781,558
		剰 余 金 合 計	781,630
		資 本 合 計	2,552,089
資 産 合 計	2,607,083	負 債 資 本 合 計	2,607,083

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○予算の執行状況

収益的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成28年度 税込決算額(A)	平成29年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
事業収益	99,405	133,718	128,150	95.8	128.9
営業収益	97,378	122,335	117,876	96.4	121.0
営業外収益	2,027	5,983	9,578	160.1	472.5
特別利益		5,400	696	12.9	-
事業費	57,861	96,926	42,059	43.4	72.7
営業費用	42,407	44,913	42,059	93.6	99.2
営業外費用	3,970	2,697	0	0.0	0.0
特別損失	11,484	46,316	0	0.0	0.0
予備費		3,000		-	-
差 引	41,544	36,792	86,091	234.0	207.2

資本的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成28年度 税込決算額(A)	平成29年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入				-	-
資本的支出	27,014	23,952	19,772	82.5	73.2
建設改良費	27,014	20,952	19,772	94.4	73.2
予備費		3,000		-	-
差 引	▲ 27,014	▲ 23,952	▲ 19,772	82.5	73.2

(注)資本的収入額が資本的支出額に不足する額19,772千円は、建設改良積立金18,307千円、過年度分損益勘定留保資金1,465千円で補てん。

平成 30 年度上半期の状況

●予算の状況

平成 30 年度上半期における予算の補正はありません。

4 病院事業

平成 29 年度決算の概要

●事業の概要

病院事業では、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 19 条の 7 に基づき、県が設置を義務付けられている精神科病院として、「熊本県立こころの医療センター」を運営しています。

本県唯一の県立病院である「こころの医療センター」は、地域に開かれた医療を行うとともに、アルコール・薬物等の依存症や、重大な犯罪を犯した精神障がい者等、民間病院等では対応が困難な患者の治療を担うなど、本県の精神科医療のセーフティネットの役割を果たしています。また、患者の社会生活に向けた支援や、児童・思春期医療といった政策的・先導的な医療にも取り組んでいます。

平成 29 年度には、平成 30 年度～平成 35 年度を計画期間とする「第 3 次中期経営計画」を策定し、「入院医療中心から地域生活中心へ」という国の政策の方向性を踏まえつつ、県立の精神科医療機関として、当センターが今後進むべき方向性や計画期間中の目標を示しました。また、平成 30 年 2 月に児童・思春期専用病床として「思春期ユニット」を開設しました。

○患者の状況

平成 29 年度は、年間延べ入院患者数 41,786 人、年間延べ外来患者数 27,171 人で、前年度に比べて、入院患者数は 6,618 人の減、外来患者数は 165 人の減となりました。

(単位:人)

病院の名称	病床数	項目	平成28年度 (A)	平成29年度 (B)	比較増減 (B) - (A)
こころの医療センター	200床 (運用 150床)	取扱患者数	75,740	68,957	▲6,783
		入院患者数	48,404	41,786	▲6,618
		外来患者数	27,336	27,171	▲165

●経営の状況

事業収益は、医業収益が 7 億 7,271 万円(対前年度比 87.2%)、医業外収益が 7 億 8,874 万円(対前年度比 99.4%)で、総収益は 15 億 6,145 万円(対前年度比 92.9%)となりました。

事業費用は、医業費用が、14 億 5,029 万円(対前年度比 93.9%)、医業外費用 6,799 万円(対前年度比 91.6%)で、総費用 15 億 1,828 万円(対前年度比 93.7%)となり、事業収支では 4,317 万円(対前年度比 71.0%)の純利益を生じています。

資本的支出では、児童・思春期専用病床改修工事を行いました。

○損益計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位：千円）

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
2 医業費用	1,450,291	1 医業収益	772,712
(1) 給与費	968,873	(1) 入院収益	602,885
(2) 材料費	73,120	(2) 外来収益	164,308
(3) 経費	260,261	(3) その他医業収益	5,519
(4) 減価償却費	137,944		
(5) 資産減耗費	1,134		
(6) 研究研修費	8,959		
営業損失	677,579		
4 医業外費用	67,991	3 医業外収益	788,736
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	67,991	(1) 受取利息	583
(2) 雑損失		(2) 一般会計負担金	759,766
		(3) 長期前受金戻入	17,934
		(4) その他医業外収益	10,453
経常利益	43,166		
6 特別損失		5 特別利益	
当年度純利益	43,166		
前年度繰越欠損金	239,000		
当年度未処理欠損金	195,834		

○貸借対照表（平成30年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産		3 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,943,542
イ土地	283,279	(2) 退職給付引当金	428,407
ロ建物	5,297,993	(3) 修繕引当金	134,015
減価償却累計額	▲ 2,403,294	固定負債合計	2,505,964
ハ構築物	522,230	4 流動負債	
減価償却累計額	▲ 354,784	(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,122
ニ器械備品	337,397	(2) 未払金	145,300
減価償却累計額	▲ 273,837	(3) 預り金	6,090
ホ車輛	20,194	(4) 賞与引当金	53,990
減価償却累計額	▲ 18,267	(5) その他流動負債	
有形固定資産合計	3,410,912	流動負債合計	424,503
(2) 無形固定資産		5 繰延収益	
イ電話加入権	241	長期前受金	864,727
無形固定資産合計	241	収益化累計額	▲ 435,566
固定資産合計	3,411,153	繰延収益合計	429,161
2 流動資産		負 債 合 計	3,359,628
(1) 現金預金	1,898,321	6 資本金	2,089,987
(2) 未収金	108,076	7 剰余金	
(3) 貯蔵品	8,250	(1) 利益剰余金	
(4) その他流動資産		イ減債積立金	172,019
流動資産合計	2,014,647	ロ当年度未処理欠損金	195,834
		利益剰余金合計	▲ 23,815
		剰余金合計	▲ 23,815
		資 本 合 計	2,066,172
資 産 合 計	5,425,800	負 債 資 本 合 計	5,425,800

○予算の執行状況

収益的収支

(単位：千円、%)

科 目	平成28年度 決算額(A)	平成29年度		(C) / (B)	前年度比 (C) / (A)
		予算額(B)	決算額(C)		
病院事業収益	1,680,357	1,565,682	1,561,448	99.7	92.9
医業収益	886,485	783,332	772,712	98.6	87.2
医業外収益	793,762	782,350	788,736	100.8	99.4
特別利益	111			—	0.0
病院事業費用	1,619,541	1,565,061	1,518,282	97.0	93.7
医業費用	1,544,238	1,496,920	1,450,291	96.9	93.9
医業外費用	74,222	68,091	67,991	99.9	91.6
予備費		50		0.0	—
特別損失	1,082			—	0.0
差 引	60,816	621	43,166	6,951.0	71.0

資本的収支

(単位：千円、%)

科 目	平成28年度 決算額(A)	平成29年度		(C) / (B)	前年度比 (C) / (A)
		予算額(B)	決算額(C)		
資本的収入 一般会計負担金					
資本的支出	248,322	423,607	392,684	92.7	158.1
建設改良費	41,649	210,802	179,879	85.3	431.9
企業債償還金	206,672	212,805	212,804	100.0	103.0
差 引	▲ 248,322	▲ 423,607	▲ 392,684	92.7	158.1

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額392,684千円は、過年度分損益勘定留保資金392,684千円で補てんしました。

平成 30 年度上半期の状況

●予算の状況

平成 30 年度上半期における予算の補正はありません。

